# 西脇市立西脇病院　経営強化プラン評価票

Ⅰ　項目別推進状況に係る評価（令和７年度実績）　　【委員評価】◎：際立った成果　○：概ね計画どおり　△：要努力

| 事　項 | 取組項目 | 委員1 | 委員2 | 委員3 | 委員4 | 委員5 | 委員6 | 委員7 | 自己評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| １　基本事項 | ⑴　今後果たすべき役割 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | B |
| | ⑵　一般会計繰出金 | ◎ | △ | ○ | ○ | ◎ | △ | ○ | A |
| | ⑶　病院と地域との連携 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | △ | ○ | A |
| ２　医療の質の向上 | ⑴　がん治療の医療体制の構築 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | B |
| | ⑵　脳卒中の病病連携体制の構築 | ○ | △ | ○ | △ | △ | ○ | △ | C |
| | ⑶　幅広い糖尿病治療により選ばれる病院の構築 | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ | ○ | B |
| | ⑷　資格等取得による人材育成 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | B |
| ３　経営資源の強化 | ⑴　入院収益の確保 | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | △ | B |
| | ⑵　外来収益の確保 | △ | △ | ○ | △ | ○ | △ | △ | C |
| | ⑶　その他収益の確保 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | △ | B |
| | ⑷　医療技術部門の取組 | ○ | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | B |
| | ⑸　地域連携への取組 | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ○ | B |
| | ⑹　その他の取組 | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | △ | ○ | A |
| ４　職員の確保と意欲の向上 | ⑴　医師確保 | ○ | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ○ | B |
| | ⑵　看護師確保 | ○ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | △ | ○ | B |
| | ⑶　職員の意欲向上 | ○ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | △ | ○ | A |
| ５　再編・ネットワーク化 | ⑴　再編・ネットワーク化 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | A |

【自己評価】　Ａ：実績＞目標　Ｂ：目標＞実績＞前年　Ｃ：目標・前年＞実績

Ⅱ　評価等のコメント

| | |
|---|---|
| 委員1 | 経営改善努力されていと思います。しかし、更なる西脇市、加東市、多可町からの患者さんの入院、外来数アップに努力が必要かと思います。 |
| 委員2 | 1-⑵については、経営面から見ると補助金無しが望ましいため△としました。リハは全体として努力されていると思いますので◎にしています。また、厳しい経営状況の中で人員がほぼ目標通り確保されているので◎としました。<br>診療報酬改定、経営改善努力の効果をふまえると、稼働率６ポイント程度の向上で黒字化に近づくと考えられます。岩井先生がおっしゃる通り、急性期加算を考慮すると重症度等を考慮する必要がありますが、稼働率が下がると引き上げられた入院基本料等のメリットを受けることができませんので一定の稼働率は必要です。他方、稼働率重視の場合は、「薄く広く」ということになりますので、患者確保の見通しが重要になります。９月末の段階では診療報酬改定の影響もより精緻に分析できると思いますので、急性期重視でいくのか、稼働率重視でいくのか、それぞれのメリット/デメリットが利益に与える影響をシミュレーションして方針を決めていただくのが良いと思います。 |
| 委員3 | 会議でも質問がありましたが、人口統計を詳しく、厳しく再確認が必要と思われます。 |
| 委員4 | 西脇病院では、急性期から在宅医療まで切れ目のない支援体制の構築に取り組まれ、多職種連携や退院支援体制の強化が進められている。訪問看護との円滑な情報共有により、安心して在宅療養へ移行できる環境が整備され、在院日数の適正化や病床の効率的な運用につながっていることは、経営改善の観点からも高く評価できる。今後も地域包括ケアの中核として、さらなる連携強化と経営基盤の安定化を期待しています。 |
| 委員5 | 会議の意見でも申しましたが、看護師数の減少が留まった事を大変うれしく思います。働きやすい環境づくり、若い看護師の意見の尊重など、時代にあった努力をされているのだと思います。看護師不足の中、大変、努力されているのだと思います。また、医師不足の中においても、安定した医師数の確保を継続的にされていることも素晴らしいと思います。 |
| 委員6 | 西脇市民病院がどのような病院であるべきか、市民目線での議論をまず行ってください。病院の方向性に基づき、持続可能であるためにどのような努力をすべきか考えてください。<br>健診事業は市民病院としてやるべき業務に見えません。医師会とよく話し合ってください。<br>リハビリは大切な医療分野であり、今後ますます重要性が増すと思われます。しかし現行の回復期リハビリが西脇市民にとって必要な機能なのか、再考願います。国は回復期リハビリとは違う形態のリハビリが大事だと考えて診療報酬を切り下げ、「回復期病棟」という言葉を使っていると思われます。超高齢社会に必要なリハビリを作ってください。<br>来住先生、堀先生の方向性は正しいと思います。救急医療における貴院の実績は大変素晴らしいと思います。今後を期待しています。 |
| 委員7 | 令和8年度計画では料金収入が令和7年度実績より860百万増。それでも経常損益は、792百万の赤字。今年度中に資金不足になるのでは？と議員さんからも質問されました。一般会計からの支援なしでは、借金を借金で返済する構図になるのでは？と危惧しています。近隣市町と連携して患者を確保するか、診療科を絞るかなど方向性を考える岐路に立っていると思います。地域の開業医の高齢化とともに地域医療の存続が心配です。 |